

令和7年度

第4回定期監査
結果報告書

(令和8年2月執行分)

御殿場市監査委員

07 御 監 第 411 号
令 和 8 年 3 月 27 日

御殿場市長 勝 又 正 美 様
御殿場市議会議長 川 上 秀 範 様
御殿場市教育長 勝 亦 重 夫 様

御殿場市監査委員 榊 原 敏 彦
御殿場市監査委員 勝 間 田 博 文

定期監査の結果について(報告)

地方自治法第199条第1項、第2項及び第4項の規定に基づき、令和7年度第4回定期監査を実施したので、その結果を同条第9項の規定により次のとおり報告します。

令和7年度第4回定期監査結果報告書

第1 監査の基準

この監査は、御殿場市監査委員監査基準(令和6年御殿場市監査委員告示第5号)に基づいて実施した。

第2 監査の種類

地方自治法第199条第1項、第2項及び第4項の規定に基づく監査

第3 監査の対象

健康福祉部 健康推進課、救急医療課
教育委員会教育部 教育総務課、教育施設課、学校教育課、社会教育課、学校給食課
危機管理課
監査委員事務局

第4 監査の着眼点

財務に関する事務が、正確で、適正かつ効率的に行われているか

- (1) 予算の執行に関する伝票等及び証拠書類等について
- (2) 現金、通帳、郵券等の金券などの管理について
- (3) 委託料随意契約の理由について
- (4) 備品等の管理について

第5 監査の主な実施内容

1 監査の期間

令和8年1月21日から令和8年3月3日まで

2 監査の範囲

令和7年4月1日から令和7年12月31日までの財務に関する事務事業の執行状況

第6 監査の実施場所及び日程

実施日	実施場所
令和8年2月24日 2月27日 3月3日	健康推進課、救急医療課、学校給食課、監査委員事務局

第7 監査の結果

監査の対象となった事務事業の予算執行及び会計事務処理は適正にされており、施設等の管理状況についても概ね適正であった。

法令、条例、規則等に違反している事項、又は経済性、有効性の観点から改善を要する事項など、

特に指摘すべき事項は見受けられなかった。指導事項については、その該当課に記載した。

所管毎の監査の概要は次のとおりである。

健康福祉部

1 監査の対象

健康推進課、救急医療課

2 監査の結果

監査した結果、財務に関する事務の執行は適正かつ効率的に執行されているものと認められた。指摘事項は見受けられなかった。指導事項については、その該当課に記載した。

健康推進課

当課は、課長以下 40 人(うち休職者 2 人、会計年度任用職員 17 人)で、成人保健スタッフ、母子保健スタッフ、予防保健スタッフにより組織されている。

(1) 主な事務事業の状況

主な事務事業の状況は、次のとおりである。

- ・母子保健に関すること（母子ともに健全な生活ができるように各種健康診査と相談の実施、伴走型相談支援と出産・子育て応援交付金の一体的実施事業ほか）
- ・予防接種に関すること（予防接種法に基づく各種予防接種(集団・個別)の実施)
- ・成人保健に関すること（疾病の早期発見・早期治療のための各種検診の実施、健康相談ほか）
- ・保健センターの維持管理、運営に関すること

(2) 予算の執行状況

歳入及び歳出予算執行状況は、次のとおりである。

ア 歳入予算執行状況（款別）

（単位：円・％）

区 分	予算現額	調 定 額	収入済額	収入未済額	収 入 率	
					対予算	対調定
国 庫 支 出 金	86,527,000	61,696,750	56,630,750	5,066,000	65.4	91.8
(うち現年)	85,527,000	60,794,750	55,728,750	5,066,000	65.2	91.7
(うち繰越明許費)	1,000,000	902,000	902,000	0	90.2	100.0
県 支 出 金	16,269,000	0	0	0	0.0	—
寄 附 金	0	508,100	508,100	0	—	100.0
繰 入 金	110,655,000	0	0	0	0.0	—
諸 収 入	1,766,000	2,504,100	2,504,100	0	141.8	100.0

イ 歳出予算執行状況（目別）

（単位：円・％）

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	予 算 残 額	支 出 率
保 健 衛 生 総 務 費	4,628,000	2,627,300	2,000,700	56.8
母 子 保 健 費	227,184,000	129,300,991	97,883,009	56.9
(うち現年)	226,184,000	128,398,991	97,785,009	56.8
(うち繰越明許費)	1,000,000	902,000	98,000	90.2
予 防 接 種 費	480,327,000	218,490,585	261,836,415	45.5
健 康 増 進 費	187,676,000	133,346,225	54,329,775	71.1
保 健 師 費	12,466,000	6,498,913	5,967,087	52.1
保 健 セ ン タ ー 管 理 費	14,904,000	11,181,201	3,722,799	75.0

※人件費を除く

(3) 現金、通帳の管理について

通帳の管理状況を確認した結果、適正に管理されていた。現金については、保管していなかった。

(4) 郵券等の管理について

郵券及び郵便受払簿について、未使用の返信用封筒に貼られた切手を管理簿で管理していなかった。

(5) 委託料の随意契約による契約事務

委託料の随意契約関係書類を審査した結果、概ね適正に対応されていた。

(6) 備品の管理

備品関係台帳を審査した結果、概ね適正に管理されていた。

(7) 指導(注意)事項

郵券及び郵便受払簿について、未使用の返信用封筒に貼られた切手についても受払簿を整備し、適正に管理されたい。

(8) 意見・要望事項

ア 各種検診について、特定健診と同時に肝炎や前立腺がん検診の実施、小山町との相互乗り入れをする等、受診しやすい体制整備をしている。今後も市民の健康意識が向上されるよう、広報等を工夫し、健康診断のアフターフォロー(受診後、治療に繋げる取組み)の充実を図られたい。

- イ 自殺対策事業について、現在、市町職員向けに研修を行っているゲートキーパー養成講座は令和 10 年度までに累計 500 人の受講者を目標としている。今後、市民を対象に講座を計画することだが、助けを必要とする人へ適切な支援が出来るよう、県や関係機関と連携を強化し、事業を推進されたい。
- ウ LOGO フォームによる各種申請事務を庁内で最も活用しており、DX 化が図られている。今後も引き続き、市民の利便性向上、事務の軽減を推進するため、DX 化を推進されたい。
- エ 職員の勤務状況について、課全体の時間外勤務が多く、他課と比べ突出している。時間外勤務が多い職員と少ない職員がいる等、特定の職員への業務集中がみられた。改めて、各職員の業務量と進捗状況を把握し、業務分担の平準化に向けた体制を整備されたい。併せて職員の心身の健康管理に万全を期されたい。
- オ 補助金交付に当っては、御殿場市補助金交付規則により交付しているが、同規則で定めるもののほか、補助金交付の細目に関しては、市長が別に定めるとある。補助金によっては別に定めていないものがあるため、早急に要綱または内規を定められたい。

救急医療課

当課は、課長以下 19 人(うち会計年度任用職員 1 人)で、救急医療スタッフにより組織されている。また、医師(嘱託)、薬剤師(委託)、放射線技師(委託)、医療事務等(委託)計 111 人が、ローテーションにより休日夜間救急業務を行っている。

(1) 主な事務事業の状況

主な事務事業の状況は、次のとおりである。

- ・救急医療等に関すること(第二次救急医療施設運営事業ほか)
- ・小児医療等に関すること(小児医療の確保ほか)
- ・医療関係従事者への修学資金貸付に関すること
(保健師、看護師等の資格取得に係る修学資金の貸付)
- ・看護学校への補助に関すること(看護学校運営費補助事業、看護学校施設整備費等補助事業、臨地実習強化対策補助事業ほか)
- ・救急医療センターに関すること【救急医療センター特別会計】
(診療業務、救急医療センターの施設維持管理、運営に関する業務)

(2) 予算の執行状況(一般会計)

一般会計の歳入及び歳出予算執行状況は、次のとおりである。

ア 歳入予算執行状況(款別)

(単位:円・%)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	収入率	
					対予算	対調定
分担金及び負担金	26,876,000	13,390,894	13,390,894	0	49.8	100.0
県支出金	1,320,000	0	0	0	0.0	—
諸収入	1,184,000	3,122,000	3,564,000	△442,000	301.0	114.2
市債	11,500,000	0	0	0	0.0	—

イ 歳出予算執行状況(目別)

(単位:円・%)

区 分	予算現額	支出済額	予算残額	支出率
医療対策費	546,461,000	306,084,355	240,376,645	56.0

※人件費を除く

(3) 予算の執行状況(救急医療センター特別会計)

救急医療センター特別会計の歳入及び歳出予算執行状況は、次のとおりである。

ア 歳入予算執行状況（款別）

（単位：円・％）

区 分	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	収入率	
					対予算	対調定
診療収入	151,122,000	66,078,668	69,737,535	△ 3,658,867	46.1	105.5
分担金及び負担金	60,302,000	30,000,000	30,000,000	0	49.7	100.0
使用料及び手数料	1,396,000	542,370	636,870	△ 94,500	45.6	117.4
繰入金	296,376,000	210,000,000	180,000,000	30,000,000	60.7	85.7
繰越金	25,703,000	25,703,923	25,703,923	0	100.0	100.0
諸収入	50,000	33,374	27,858	5,516	55.7	83.5
県支出金	0	33,000	33,000	0	—	100.0

イ 歳出予算執行状況（款別）

（単位：円・％）

区 分	予算現額	支出済額	予算残額	支出率
総務費	17,504,000	10,565,726	6,938,274	60.4
医療費	363,096,000	225,719,664	137,376,336	62.2
予備費	4,357,000	0	4,357,000	0.0

※人件費を除く

(4) 診療収入の収納状況（救急医療センター特別会計）

診療収入の収納状況は、次のとおりである。

（単位：円・％）

区 分	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	収入率	
					対予算	対調定
診療収入（外来収入）	151,122,000	66,078,668	69,737,535	△ 3,658,867	46.1	105.5
（現年度分）	151,112,000	62,275,628	69,656,135	△ 7,380,507	46.1	111.9
（過年度分）	10,000	3,803,040	81,400	3,721,640	814.0	2.1

※収入未済額が負数になっているのは、12月末日現在で12月分が未調定のためである。

(5) 救急医療センターの利用状況

救急医療センターの地区別の利用状況は、次のとおりである。

（単位：人）

区 分		令和7年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度
利用者数		8,235	12,324	11,060	8,847	8,456
地区別 内 訳	御殿場市	5,851	9,075	8,007	6,457	6,165
	小山町	1,150	1,573	1,499	1,205	1,247
	その他	1,234	1,676	1,554	1,185	1,044

※令和7年度は12月末日までの数値

(6)前渡資金出納状況(救急医療センター特別会計)

前渡資金について関係帳簿等を照合した結果、計数は一致し適正に処理されていた。

前渡資金の出納状況は、次のとおりである。

(単位:円)

区 分	前 渡 資 金 額	精 算 額	返 納 額	未 精 算 額
診 療 収 入 還 付 金	2,300,000	1,006,140	0	1,293,860

(7)現金、通帳の管理について

窓口現金(釣銭資金)の管理状況について聴取を行った結果、概ね適正に処理されていた。通帳については保管していなかった。

(8)郵券等の管理について

郵券及び郵便受払簿について書類審査と現品確認を実施した結果、適正に管理されていた。

(9)委託料の随意契約による契約事務

委託料の随意契約関係書類を審査した結果、概ね適正に対応されていた。

(10)備品の管理

備品関係台帳を審査した結果、概ね適正に管理されていた。

(11)意見・要望事項

ア 全国的な看護師不足に加え、御殿場看護学校の入学者数の定員割れが続くなど、看護師等の医療従事者の確保を課題に挙げている。令和 8 年度から就学資金貸付制度を充実される等対応策を講じているが、引き続き、地域の救急医療体制を維持・確保できるよう、あらゆる支援の可能性を研究・検討されたい。

イ 電子カルテやスマートレジの導入、AI 問診をする等、積極的に DX 化を図っている。引き続き、事務効率化と患者の利便性向上、安全な医療提供ができるよう、DX 化を推進されたい。

ウ 診療収入の滞納整理については、債権管理簿等を適切に整備して必要な督促・催告行為を行うとともに、特別債権対策課とも調整・協力し、適切な債権管理及び未収額の縮減に努められたい。

教育委員会教育部

1 監査の対象

教育総務課、教育施設課、学校教育課、社会教育課、学校給食課

2 監査の結果

監査した結果、財務に関する事務の執行は適正に行われており、施設等の管理状況も概ね適正であった。指摘事項は見受けられなかった。また、軽微な指導事項については、その都度関係職員に対して改善を求めた。

教育総務課

当課は、課長以下 8 人で、庶務スタッフ、教育 ICT スタッフにより組織されている。

(1) 主な事務事業の状況

主な事務事業の状況は、次のとおりである。

- ・教育委員会に関すること
- ・学校の会計管理及び備品検査に関すること
- ・一般・教材備品の整備に関すること
- ・育英奨学資金の貸付に関すること
- ・教育振興会補助金に関すること
- ・教育の情報化の推進に関すること
- ・教育 ICT 機器等の整備及び活用に関すること

(2) 予算の執行状況

歳入及び歳出予算執行状況は、次のとおりである。

ア 歳入予算執行状況(款別)

(単位:円・%)

区 分	予算現額	調 定 額	収入済額	収入未済額	収 入 率	
					対予算	対調定
分担金及び負担金	447,000	0	0	0	0.0	—
国庫支出金	8,119,000	0	0	0	0.0	—
県支出金	258,939,000	0	0	0	0.0	—
寄 附 金	2,700,000	2,700,000	2,700,000	0	100.0	100.0
繰 入 金	310,101,000	47,356,000	47,356,000	0	15.3	100.0
諸 収 入	7,276,000	6,205,642	6,945,540	△ 739,898	95.5	111.9

イ 歳出予算執行状況(目別)

(単位:円・%)

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	予 算 残 額	支 出 率
教 育 委 員 会 費	621,000	316,562	304,438	51.0
事 務 局 費	69,306,000	61,265,281	8,040,719	88.4
学校管理費(小学校費)	190,999,000	139,292,378	51,706,622	72.9
教育振興費(小学校費)	617,285,000	166,202,543	451,082,457	26.9
学校管理費(中学校費)	102,534,000	73,627,933	28,906,067	71.8
教育振興費(中学校費)	318,967,000	79,967,696	238,999,304	25.1
幼 稚 園 費	198,548,000	125,928,284	72,619,716	63.4

※人件費を除く

(3)前渡資金出納状況

前渡資金について通帳、関係帳簿等を照合した結果、計数は一致し適正に処理されていた。

前渡資金の出納状況は、次のとおりである。

(単位:円)

区 分	前 渡 資 金 額	精 算 額	未 精 算 額
教 育 委 員 会 交 際 費	110,000	68,700	41,300

(4)現金、通帳の管理について

通帳の管理状況を確認した結果、適正に管理されていた。現金については、保管していなかった。

(5)郵券等の管理について

郵券については、保管していなかった。

(6)委託料の随意契約による契約事務

委託料の随意契約関係書類を審査した結果、概ね適正に対応されていた。

(7)備品の管理

備品関係台帳を審査した結果、概ね適正に管理されていた。

(8)意見・要望事項

ア タブレット端末の活用は、動画やデジタルドリル等、豊富な学習ツールを活用することで児童生徒一人ひとりの特性や学習到達度に合わせた学びに役立っている一方、眼精疲労などの身体的影響、デジタル依存、ネット上の偽・誤情報を活用してしまうリスクがある。端末利用に当たっては、児童生徒の健康への配慮等に関する啓発をするとともに、学校と連携を強化し、情報リテラシーを向上する取組みを推進されたい。

- イ 教育委員会の交際費について、会議出席者が負担金を立替払いして、後日理由書を添付し事後精算を行った。事務局が開催通知を確認できなかったことが要因であったが、教育委員会及び担当課内での情報共有、スケジュールの確認事項のチェックを徹底されたい。
- ウ 昨年 11 月に校務系サーバーがランサムウェアの攻撃を受けたことを踏まえ、ファイアーウォールの設置、バックアップ体制の強化等を行い、次年度からは物理的なサーバー管理を廃止し、フルクラウド化を進める方針である。過去の事案を教訓として、安全性を高めた整備体制の構築に努められたい。
- エ 補助金交付に当っては、御殿場市補助金交付規則により交付しているが、同規則で定めるもののほか、補助金交付の細目に関しては、市長が別に定めるとある。補助金によっては別に定めていないものがあるため、早急に要綱または内規を定められたい。

教育施設課

当課は、課長以下 9 人(うち会計年度任用職員 1 人)で、施設スタッフにより組織されている。

(1) 主な事務事業の状況

主な事務事業の状況は、次のとおりである。

- ・学校の維持管理に関すること（施設維持管理に伴う調査、修繕ほか）
- ・学校の整備に関すること（環境整備事業、校舎改築事業ほか）
- ・教育委員会の所管する建設工事の調査、設計、監督及び施工に関すること

(2) 予算の執行状況

歳入及び歳出予算執行状況は、次のとおりである。

ア 歳入予算執行状況(款別)

(単位:円・%)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	収入率	
					対予算	対調定
繰入金	131,027,000	16,394,675	16,394,675	0	12.5	100.0
市債	26,800,000	0	0	0	0.0	—

イ 歳出予算執行状況(目別)

(単位:円・%)

区 分	予算現額	支出済額	予算残額	支出率
事務局費	6,128,000	4,053,656	2,074,344	66.1
学校管理費(小学校費)	146,573,000	94,305,337	52,267,663	64.3
学校管理費(中学校費)	107,261,000	48,502,885	58,758,115	45.2
西中学校校舎改築事業費	73,451,000	14,438,080	59,012,920	19.7

※人件費を除く

(3) 現金、通帳の管理について

現金、通帳については、保管していなかった。

(4) 郵券等の管理について

郵券及び郵便受払簿について書類審査と現品確認を実施した結果、適正に管理されていた。

(5) 委託料の随意契約による契約事務

委託料の随意契約関係書類を審査した結果、概ね適正に対応されていた。

(6) 備品の管理

備品関係台帳を審査した結果、適正に管理されていた。

(7) 意見・要望事項

- ア 中学校校舎改修設計について、ワークショップを通じて学校関係者や地域住民の意向を設計に反映させた手法は、開かれた学校づくりに資する有益な取組みである。今後も引き続き、広く教職員・児童生徒等からの声を反映させることで、より機能的で質の高い教育環境を整備されたい。
- イ 老朽化が進行した教育施設が多くなってきているが、児童・生徒の安全及び良好な教育環境を確保するため、引き続き、施設等の適切な整備、維持管理に努められたい。また、老朽化等に伴う改修・修繕には多大な事業費を要することから、公共建築物個別計画に基づき事業費の平準化にも配慮されたい。

学校教育課

当課は、課長以下 10 人(うち休職者 1 人)で、教育指導スタッフにより組織されている。また、外部講師を 5 人、CS ディレクター3 人、会計年度任用職員として各種相談員、専門別補助者、事務補助等を 97 人配置している。

(1) 主な事務事業の状況

主な事務事業の状況は、次のとおりである。

- ・健康管理に関すること（児童、生徒、園児及び教職員の健康診断事業ほか）
- ・学校教育の支援に関すること（教育相談事業、外国人児童生徒適応指導事業、学校教育充実事業、特別支援教育推進事業、発達障害児支援事業、教育指導センター事業ほか）
- ・外国人英語指導者の配置に関すること
- ・いじめの防止等対策推進事業に関すること
- ・教育指導に関すること

(2) 予算の執行状況

歳入及び歳出予算執行状況は、次のとおりである。

ア 歳入予算執行状況(款別)

(単位:円・%)

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	収 入 未 済 額	収 入 率	
					対 予 算	対 調 定
分 担 金 及 び 負 担 金	73,000	0	0	0	0.0	—
繰 入 金	33,623,000	33,147,000	33,147,000	0	98.6	100.0
諸 収 入	2,884,000	3,060,654	3,061,114	△ 460	106.1	100.0

イ 歳出予算執行状況(目別)

(単位:円・%)

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	予 算 残 額	支 出 率
教 育 指 導 費	359,528,000	243,166,702	116,361,298	67.6

※人件費を除く

(3) 現金、通帳の管理について

通帳の管理状況を確認した結果、適正に管理されていた。現金については、保管していなかった。

(4) 郵券等の管理について

郵券については、保管していなかった。

(5) 委託料の随意契約による契約事務

委託料の随意契約関係書類を審査した結果、概ね適正に対応されていた。

(6) 備品の管理

備品関係台帳を審査した結果、概ね適正に管理されていた。

(7) 意見・要望事項

- ア 中学校部活動の地域展開・地域連携の推進に当たっては、学校や地域毎に抱える課題が多様であることを十分に確認し、生徒の活動機会が損なわれないよう、支援体制の構築を図るとともに、地域に存在する人的・物的資源を活用しながら、地域全体で子供たちを育む視点を持ち、より豊かで幅広い活動ができる環境の整備に努められたい。
- イ 学校と地域を結ぶ役割を担う CS ディレクターについては、現在市内の小中学校 6 校区にそれぞれ 1 名が配置されている。導入当初の校区もあるため、他校や経験豊富な CS ディレクターとの情報共有や連携を図ることで負担軽減となり、役割をより適切に果たせることが期待される。引き続き、定期的な連絡会の開催や情報共有の場を設けるなど、活動を支える仕組みを整備されたい。
- ウ 補助金交付に当たっては、御殿場市補助金交付規則により交付しているが、同規則で定めるもののほか、補助金交付の細目に関しては、市長が別に定めるとある。補助金によっては別に定めていないものがあるため、早急に要綱または内規を定められたい。

社会教育課

当課は、課長以下 20 人(うち社会教育指導員 4 人、会計年度任用職員 4 人)で、社会教育スタッフ、文化スタッフ、図書館スタッフにより組織されている。

(1) 主な事務事業の状況

主な事務事業の状況は、次のとおりである。

- ・生涯学習の推進に関する事 (生涯学習活動事業、家庭教育支援事業、団体育成事業)
- ・地域づくり活動に関する事 (地域づくり事業、地域づくり活動推進事業)
- ・青少年教育事業に関する事 (青少年活動事業、青少年団体育成事業ほか)
- ・青少年対策事業に関する事 (青少年健全育成事業、放課後子ども教室推進事業ほか)
- ・文化財事業に関する事 (文化財保全管理・民俗資料収蔵庫管理、(仮称)御殿伝承地歴史広場整備事業ほか)
- ・芸術文化事業に関する事 (市民芸術祭事業、文化団体補助事業ほか)
- ・新図書館等の整備に関する事
- ・図書館に関する事 (図書整備事業、移動図書館車更新事業、指定管理施設運営事業ほか)
- ・富士山市民のサロンに関する事 (指定管理施設運営事業、施設管理ほか)
- ・その他の指定管理施設の運営に関する事 (東山青少年広場、東山旧岸邸、市民会館)

(2) 予算の執行状況

歳入及び歳出予算執行状況は、次のとおりである。

ア 歳入予算執行状況(款別)

(単位:円・%)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	収入率	
					対予算	対調定
使用料及び手数料	394,000	393,160	393,160	0	99.8	100.0
国庫支出金	73,518,000	0	0	0	0.0	—
県支出金	2,500,000	84,104	84,104	0	3.4	100.0
寄附金	34,600,000	33,100,000	33,100,000	0	95.7	100.0
繰入金	965,586,000	123,447,948	122,823,775	624,173	12.7	99.5
諸収入	10,367,000	299,900	294,900	5,000	2.8	98.3
市債	1,923,800,000	0	0	0	0.0	—
(うち現年)	1,846,400,000	0	0	0	0.0	—
(うち繰越明許費)	77,400,000	0	0	0	0.0	—

イ 歳出予算執行状況(目別)

(単位:円・%)

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	予 算 残 額	支 出 率
社 会 教 育 総 務 費	154,936,000	140,867,240	14,068,760	90.9
文 化 財 費	41,147,000	20,288,256	20,858,744	49.3
図 書 館 費	3,387,422,000	338,868,940	3,048,553,060	10.0
(うち現年)	3,225,422,000	177,238,940	3,048,183,060	5.5
(うち繰越明許費)	162,000,000	161,630,000	370,000	99.8
芸 術 文 化 振 興 費	400,353,000	338,380,418	61,972,582	84.5

※人件費を除く

(3) 図書館及び移動図書館車の利用状況

図書館(本館・地区図書館)及び移動図書館車の利用状況は、次のとおりである。

(単位:人・冊)

区 分		令 和 7 年 度	令 和 6 年 度	令 和 5 年 度	令 和 4 年 度	令 和 3 年 度
入 館 者 数	本館	109,819	148,672	148,666	141,687	134,911
	地区図書館	1,961	2,593	2,553	2,914	2,679
	移動図書館車	8,402	11,822	12,730	12,246	20,952
	合 計	120,182	163,087	163,949	156,847	158,542
利 用 者 数	本館	52,676	74,760	77,046	77,801	74,214
	地区図書館	1,492	2,096	1,983	2,138	1,839
	移動図書館車	2,514	3,528	3,596	3,598	3,900
	合 計	56,682	80,384	82,625	83,537	79,953
貸 出 冊 数	本館	219,891	324,219	343,001	366,128	372,046
	地区図書館	5,913	8,193	8,359	9,294	8,043
	移動図書館車	18,168	23,926	24,204	23,757	26,882
	合 計	243,972	356,338	375,564	399,179	406,971

※令和7年度は12月末日までの数値

(4) 現金、通帳の管理について

通帳の管理状況を確認した結果、適正に管理されていた。現金については、保管していなかった。

(5) 郵券等の管理について

郵券及び郵便受払簿について書類審査と現品確認を実施した結果、適正に管理されていた。

(6) 委託料の随意契約による契約事務

委託料の随意契約関係書類を審査した結果、概ね適正に対応されていた。

(7) 備品の管理

備品関係台帳を審査した結果、概ね適正に管理されていた。

(8) 意見・要望事項

- ア 新図書館等整備事業について、令和 8 年 7 月の開館に向けて愛称及びロゴマークが決定する等、着実に準備が進められている。今後、市民に親しまれ、広く利用しやすい施設となるよう、広報方法、運営方法も含めて創意工夫に努められたい。
- イ 新図書館に併設する新郷土資料館について、これまでの文化財等の収蔵資料は民俗資料収蔵庫の耐震性能が低く、小中学生による社会科見学等の活用が限定的であったが、移転後は、当市ゆかりの歴史的・貴重な資料を良好な状態で保存するとともに、常設展示の方法を創意工夫し、歴史を学ぶ場と機会の提供に努められたい。
- ウ 家庭教育支援事業において、参加者の減少が課題とされている。今後は、参加しやすい環境を整備するとともに、来年度から新たに開始する「地域学校協働活動」を活用し、保護者と学校のつながりを強化する機会を創出することで、事業のさらなる周知と理解促進を図られたい。
- エ 補助金交付に当っては、御殿場市補助金交付規則により交付しているが、同規則で定めるもののほか、補助金交付の細目に関しては、市長が別に定めるとある。補助金によっては別に定めていないものがあるため、早急に要綱または内規を定められたい。

学校給食課

当課は、課長以下 40 人(うち栄養士 2 人、調理師 12 人、県栄養士 5 人、会計年度任用職員 17 人)で、管理スタッフ、西学校給食センター、高根学校給食センターにより組織されている。

(1) 主な事務事業の状況

主な事務事業の状況は、次のとおりである。

- ・学校給食に関する事務(調理業務、配膳業務、洗浄業務、物資発注・検収業務ほか)
- ・学校給食施設整備及び機器管理業務
- ・児童及び生徒の栄養指導並びに調査研究
- ・学校給食センターの管理

(2) 予算の執行状況

歳入及び歳出予算執行状況は、次のとおりである。

ア 歳入予算執行状況(款別)

(単位:円・%)

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	収 入 未 済 額	収 入 率	
					対 予 算	対 調 定
繰 入 金	83,928,000	0	0	0	0.0	—
諸 収 入	313,331,000	191,971,465	186,923,013	5,048,452	59.7	97.4
市 債	111,800,000	0	0	0	0.0	—

イ 歳出予算執行状況(目別)

(単位:円・%)

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	予 算 残 額	支 出 率
給食センター運営費	1,174,904,000	769,270,119	405,633,881	65.5

※人件費を除く

(3) 学校給食費の納付状況について

9月末日現在の小学校、中学校及び給食センター学校給食納付金の収納状況は、次のとおりである。

学校給食納付金の状況

(単位:円・%)

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	収 入 未 済 額	収 入 率	
					対 予 算	対 調 定
小学校学校給食納付金	185,064,000	114,148,986	111,073,125	3,075,861	60.0	97.3
（現年度分）	184,964,000	112,185,585	111,026,065	1,159,520	60.0	99.0
（過年度分）	100,000	1,963,401	47,060	1,916,341	47.1	2.4
中学校学校給食納付金	123,456,000	74,800,871	72,823,930	1,976,941	59.0	97.4
（現年度分）	123,406,000	73,154,430	72,823,930	330,500	59.0	99.5
（過年度分）	50,000	1,646,441	0	1,646,441	0.0	0.0
給食センター学校給食納付金(現年度分)	4,758,000	2,962,408	2,966,758	△ 4,350	62.4	100.1
合 計	313,278,000	191,912,265	186,863,813	5,048,452	59.6	97.4

※給食センター学校給食納付金の収入未済額が負数であるのは、未調定のものがあるためである。

(4) 現金、通帳の管理について

現金、通帳については、保管していなかった。

(5) 郵券等の管理について

郵券及び郵便受払簿について書類審査と現品確認を実施した結果、適正に管理されていた。

(6) 委託料の随意契約による契約事務

委託料の随意契約関係書類を審査した結果、適正に対応されていた。

(7) 備品の管理

備品関係台帳を審査した結果、概ね適正に管理されていた。

(8) 意見・要望事項

ア 安心・安全・美味しい学校給食の提供のため、引き続き、日常的な衛生管理を徹底するとともに、メニューの工夫にも努められたい。また、食育については、学校・家庭とも連携を密にし、食による健康づくりや地産地消の推進を図られたい。

イ 施設管理については、計画的な維持管理・補修等を実施し、作業能率の向上、安全管理基準の徹底を図るとともに、効率的な運営に努められたい。

ウ 学校給食納付金は、今年度現年分及び滞納繰越分について、児童手当からの徴収により、未納額縮減に一定の成果が見られた。引き続き、公平性の観点からも、適切な督促行為を行い、未納・滞納額の縮減に努められたい。また、各学校及び特別債権対策課と連携を強化し、適切な債権管理を図られたい。

危機管理課

1 監査の対象

危機管理課

2 監査の結果

監査した結果、財務に関する事務の執行は適正かつ効率的に執行されているものと認められた。指摘事項は見受けられなかった。軽微な指導事項については、その都度関係職員に対して改善を求めた。

危機管理課

当課は、危機管理監以下 7 人(うち会計年度任用職員 2 人)で、危機管理スタッフにより組織されている。

(1) 主な事務事業の状況

主な事務事業の状況は、次のとおりである。

- ・無線放送施設の管理に関すること（戸別受信機の維持管理、防災行政無線の更新ほか）
- ・防災情報の配信に関すること（災害情報、防災訓練情報等を市民・自主防災会・職員向けに発信）
- ・防災用資機材等の購入に関すること（防災用の備蓄品、資機材の購入）
- ・自主防災活動の推進に関すること（自主防災会の資機材整備に対する補助ほか）
- ・火防隊の運営に関すること（市内 40 隊の火防隊に対する運営経費に対する交付金）
- ・災害対策に関すること（防災訓練、防災出前講座ほか）

(2) 予算の執行状況

歳入及び歳出予算執行状況は、次のとおりである。

ア 歳入予算執行状況（款別）

（単位：円・％）

区 分	予算現額	調 定 額	収入済額	収入未済額	収 入 率	
					対予算	対調定
国 庫 支 出 金	58,108,000	23,430,000	23,430,000	0	40.3	100.0
(うち現年)	34,678,000	0	0	0	0.0	—
(うち繰越明許費)	23,430,000	23,430,000	23,430,000	0	100.0	100.0
県 支 出 金	64,083,000	0	0	0	0.0	—
寄 附 金	10,000,000	0	0	0	0.0	—
繰 入 金	31,901,000	24,980,000	24,980,000	0	78.3	100.0
諸 収 入	645,000	0	0	0	0.0	—

イ 歳出予算執行状況（目別）

（単位：円・％）

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	予 算 残 額	支 出 率
無線放送施設管理費	60,379,000	31,992,029	28,386,971	53.0
(うち現年)	29,139,000	752,029	28,386,971	2.6
(うち繰越明許費)	31,240,000	31,240,000	0	100.0
水 防 費	174,000	111,805	62,195	64.3
災 害 対 策 費	141,750,000	56,191,738	85,558,262	39.6
国 民 保 護 推 進 費	916,000	0	916,000	0.0

※人件費を除く

(3) 現金、通帳の管理について

通帳の管理状況を確認した結果、適正に管理されていた。現金については、保管していなかった。

(4) 郵券等の管理について

郵券及び郵便受払簿について書類審査と現品確認を実施した結果、適正に管理されていた。

(5) 委託料の随意契約による契約事務

委託料の随意契約関係書類を審査した結果、概ね適正に対応されていた。

(6) 備品の管理

備品関係台帳を審査した結果、概ね適正に管理されていた。

(7) 意見・要望事項

ア トイレトラック導入について、国からの補助金やクラウドファンディングを行うなど積極的に資金調達をしている。トイレトラック導入後は、市内での防災訓練やイベント等で有効活用するとともに、災害時にスムーズに広域連携が図られるよう体制整備に努められたい。

イ 備蓄品について、毎年度計画的に更新し、食料等は保存期限が切れる前に防災訓練時やフードバンクに提供している。今後も保存期限を定期的に確認し備蓄品を有効活用すると共に保存年限が長い備蓄品を購入する等、災害時の備えを万全にされたい。

ウ 2市1町で、毎年地域防災指導者養成講座を開催し、市民に日本防災士機構認証の防災士の資格取得を奨励している。資格取得者が自主防災会と連携し、日頃から防災対策の推進や災害発生時の応急対応など、地域の防災指導者として活躍できるための環境整備に努められたい。

- エ 補助金交付に当っては、御殿場市補助金交付規則により交付しているが、同規則で定めるもののほか、補助金交付の細目に関しては、市長が別に定めるとある。補助金によっては別に定めていないものがあるため、早急に要綱または内規を定められたい。

監査委員事務局

1 監査の対象

監査委員事務局

2 監査の結果

監査した結果、財務に関する事務の執行は適正かつ効率的に執行されているものと認められた。指摘事項、指導事項は見受けられなかった。

監査委員事務局

当事務局は、事務局長以下 3 人で、監査スタッフにより組織されている。

(1) 主な事務事業の状況

主な事務事業の状況は、次のとおりである。

- ・監査委員の庶務に関すること
- ・監査、検査、審査の実施に関すること
- ・都市監査委員会に関すること

(2) 予算の執行状況

歳出予算執行状況は、次のとおりである。

歳出予算執行状況（目別）

（単位：円・％）

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	予 算 残 額	支 出 率
監 査 委 員 費	698,000	354,179	343,821	50.7

※人件費を除く

(3) 現金、通帳の管理について

現金、通帳については、保管していなかった。

(4) 郵券等の管理について

郵券については、保管していなかった。

(5) 委託料の随意契約による契約事務

委託料の随意契約については、該当するものがなかった。

(6)備品の管理

備品関係台帳を審査した結果、適正に管理されていた。

(7)意見・要望事項

ア 監査委員事務局は局長を含め 3 人と少人数のため、監査業務のノウハウや知識等を伝授し、また可能な限り研修等に参加し知識の向上と他自治体との情報交換を図ることで、効率的・効果的な監査となるよう業務を改善されたい。

イ 令和 9 年 2 月に予定されている新財務会計システムへの移行に伴い、令和 9 年度以降に歳入・歳出とも電子決済となる予定であることから、変更点、運用方法等を十分に研究し、移行後の監査に不備が生じることがないように万全を期されたい。